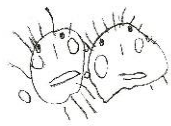


いっぽだより



2025年度 No. 6

2025年9月26日

はじめのいっぽ弥生

朝晩とめっきり涼しくなりました。皆様にはいかがお過ごしのことでしょうか？
スーパーには銀色に輝くサンマが並び（例年にはない大きさのものもありますね）、公園へ散策に出かけると栗や栃の実どんぐりなどの木の実もたくさん実ってます。いっぽ広場も途別の畑でも今年はぶどうが大豊作でうれしい悲鳴を上げております。

日々子どもたちと一緒に活動していると自然に触れることが多く、たくさんの発見が出来たり、季節の変わり目にも気づくことが出来ます。ずっと座ってパソコンに向かって仕事をしているより、体を使って活動している方が疲れるかと思いますが、疲れの種類が違うような気がします。座ってパソコンの疲れは“頭が重だるい疲れ”、子どもたちと外で活動した疲れは“さわやかな疲れ”、何か美味しい物を食べて少し休むとすぐに回復できます。でもパソコン疲れは同じようにはいきません。パソコンに限らずスマホなども体にいい影響はない気がします。もちろん今の時代なくては生活できない便利なものではありません。でも以前もお伝えしておりますが、スマホの使い過ぎは脳の成熟過程にある子供において、前頭葉の発達をさまたげ、思考力、記憶力、感情のコントロール能力を低下させ、学力にも悪影響を与える可能性があると言われておりますね。前頭葉の機能が成熟していないと、スマホが引き起こすドーパミン放出の繰り返しが相まって、衝動抑制や集中力の低下をまねくそうです。

学力低下の面で、スマホを全く使わない子どもよりも、1時間未満の子どもの方が成績は高い傾向にあり、1時間以上使うと明らかに低下するという結果もあります。要は1時間未満の子どもは自己管理能力が高いという事なんでしょうね。

子どもたちがいっぽにいる間は、パソコン・スマホに触れる時間はありますが、家に帰るとどうしてもほっとした時間をゲームなどをして過ごしたいですね。わかります。ですが出来れば“スマホ1時間未満”の話をお子さんに伝えていただいて実行出来たら自己管理能力の高い子に育つのではないのでしょうか。いっぽでも子どもたちと“1時間未満”の話を根気よく伝えていきたいと思っております。



今、赤とんぼが激減しているそうです。

記：山本 寿果

10月スケジュール

日 時	行 事
10月 4日（火）	炊事遠足
10月13日（月）	祝日 スポーツの日
10月20日（月）	定例会議
10月22日（水）	あっちこっち紙芝居

※ 11月7日（金）の午前中は職員研修のため療育をお休みさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

秋の広場

過ごしやすい季節になり活発な活動が繰り広げられています。リールに乗ったり、竹登り竹渡りなど体を動かし外ご飯はピザを薪で焼いて過ごす、なぜこんなにも楽しいのでしょうか。不完全な遊び道具がもたらす不自然な予測できない動きが、突発的な危機に反応できる体を作ってくれます。ギリギリな挑戦と安心感・・・出来たときの充実感が、楽しさに繋がっているのでしょうか。



仲間同士で助け合い成功した時、とてもいい笑顔が広がり喜び合う・・・そんな姿が見られるいっぱい広場です。落っこちたり、すりむいたりしながらも、あきらめずに取り組んでいます。その間スタッフは緊張しっぱなしですが、子どもたちの笑顔を見たい一心で頑張っています。



9月から、いっぱいをお手伝いいただいている“桑田先生”の周りで子どもたちが、おやつ作りのお手伝いや、ゲームで盛り上がっています。また、外ではみんなで畑の手入れをしたりと、子どもたちと自然に溶け込んでくれています。いっぱいの知恵袋として、子どもたちだけでなくスタッフにも色々教えてください。



今年の収穫は、広場の畑が豊作です。ブドウはとても甘くおやつに何度も登場しています。ナスやキュウリ、ニンジンにトマト、子供たちが収穫して自分たちで食しています。

ひつじ組 編（未就学児）

【五感をフル活用！】

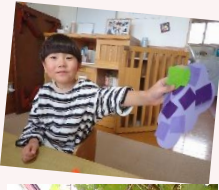
小学生の夏休みも終わり、いつもの羊組さんの活動が始まりました♪

夏から秋へと季節が変化するこの時期ならではの遊びや発見を楽しみ、五感もフル活用！！新しい仲間も増え、より一層賑やかで楽しい羊組さんです☆



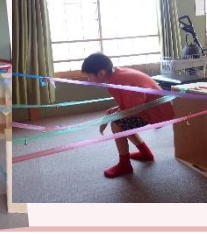
【制作活動】

今月は“敬老の日制作”“ぶどう制作”に取り組みました♪
ぶどう制作の後には本物のいっぽぶどうを収穫し、甘くて香り豊かなぶどうを味わい、とても満足した表情を見せてくれました！！



【感覚統合あそび(運動あそび)】

毎週続けている運動遊び♪今では「次は運動遊び！」と、自らイスを運んで座って待っているなんとも可愛いみんなです(*^^*) 回数を重ねるごとに、スタッフの補助がなくても出来るようになる等、明らかな変化が見受けられ、スタッフも毎回楽しみにしています！運動あそびで自信が付き、広場での竹渡りに挑戦するお友達が続出しています！！



【日常の風景】



お友達との関わりを楽しんでいます♪

チャレンジの秋



リールは前に進むために、後ろ向きの歩き方をしなければなりません。さらにバランスを取り、でこぼこの地面を蹴って進むのは結構勇気とコツがいります。9月初めにはほとんどの子が竹渡が出来ませんでしたが、今ではチャレンジした子のほとんどがサポートなしで渡り切っています。最初のチャレンジがなければ、今がありません。また、風を読み風の力を知る。こんな経験はめったにないことです。いざというときに役に立つことと思います。

